



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成29年11月20日

本気の『あさしおごはん』始動

朝晩、頬に感じる風に冷たさを感じる季節となりました。10月には、6年生の修学旅行、4年生の市音楽発表会への出場、11月始めにかけての5年生観音山野外教室、3つの学年の主要行事が無事に終了しました。ここまで学年一丸となって頑張ってきた子どもたちの頑張りに大きな拍手をおくりたいと思います。そして、子どもたちを励まし支えてくださった保護者の皆様にも心から感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。これらの活動で培った力を「日々の学校生活に生かすために何をすべきか」を子どもたちと担任と一緒に考えて、更なる教育活動の充実を求めて取り組んでいきます。

12日日曜日のPTA親子奉仕作業では校舎内外の環境整備を精力的に行ってくださいありがとうございました。また、作業後には6年生の親子ボランティアによる遊具ペンキ塗り作業にも18家族の皆様が御参加いただき、はばたきの丘の3本の一本橋が色鮮やかになりました。子どもたちのためにと一生懸命働いてくださった保護者の皆様に、そして、学校のためにと頑張ってくれた6年生の子どもたちに感謝いたします。

15日水曜日には、10月の朝礼がありました。その中で、校長から子どもたちにある提案をしました。みんなが求める「なかよくたのしい学校」づくりに一番必要なことは、「あさしおごはん」を頑張って、みんなの心がつながることだと、全校みんなで共有して進めてきているのに、本当に「あさしおごはん」はできているのか、と問いかけました。子どもたちは口々に「できていない」ことを発表してくれました。夢の達成に向けてまわりの大人が子どもたちを支えようと一生懸命取り組んでくれているのに、自分たちは本当にこのままでいいのか、と子どもたちに話し合いの場を設定しました。「あいさつは心と心をつなぐものだから声が小さいと伝わらない」6年生の山本駿馬さんの意見に、「通学班の班長が言わないとあいさつできないのは一人のときはできていないってことだろうか」と高学年から心配の声も上がりました。そこで、25年の伝統ある「あさしおごはん」のあいさつをここで終わらせないためにも、「本気のあさしおごはん」の姿を見せよう、相手に伝わる気持ちと声で、白羽小学校のあいさつを高めて『なかよくたのしい学校』の夢を実現しよう、と話しました。真面目に一生懸命頑張ることができる白羽小学校の子どもたちなら、「あさしおごはん」のあいさつを身につけることができると本校職員は信じています。子どもたちの決意に職員は「全力応援」をしていきます。御家庭や地域の皆様にも子どもたちのあいさつへの今まで以上の「全力応援」をお願いいたします。互いの心と心をつなぎ共によりよい生活を築いていくために。

(校長 増田久美子)



【あさしおごはん】ありがとう さようなら しつれいします しつれました
おはようございます ごめんなさい こんにちは はい さん、くん

